

協定書

酒樽職工組合ヨリ待遇條件ニ就キ請求ニ依リ大正十一年四月一日双
互代表者會見ノ上左ノ通り協定ス

記

第一條 手当

第一項 永續手当

滿三ケ年以上勤務ヲ永續シタル時ハ左記ノ割合ニテ永續手当ヲ支給ス

但シ永續年限ノ起算ハ從來勤務年數ノ三分ノ一ヲ以テ基準トス

滿三ケ年 金六拾圓

以後壹ケ年ニ付金貳拾五圓宛支給ス

但シ永續手当金毎期末ニ於テ銀行預金トシ雇主之レヲ保管ス退職又ハ解雇ノ際元利金

トモ之レヲ贈與ス(預金ハ本人ノ名義トシ通帳ハ業主ニ於テ保管ス)永續年限ニ端數ヲ

生ジタル場合ニハ日割ヲ以テ計算ス

第二項 勤務手当

職工一日完全ニ業務ヲ果シタル場合ハ金拾五錢ヲ勤務手当トシテ支給ス(但シ繁忙期六
ケ月間トス)

但シ雇主側ヨリ臨時休業爲シタル場合ハ完全ニ業務ヲ果シタルモノト見做ス

右勤務手当金ハ解雇又ハ退職ノ時迄銀行へ職工名義ニテ預金シ雇主ニ於テ通帳ヲ保管シ

解雇又ハ退職ノ際之レヲ支給ス

第三項 解雇手当

滿一ケ年以上勤務シタルモノヲ雇主ガ業務上ノ都合ニ依リ解雇スル場合一時金貳拾圓ヲ

解雇手当トシテ支給シ以後壹ケ年毎ニ金五圓宛増給ス

本項ハ双方協定ノ日ヨリ起算ス

但シ左記ノ場合ハ支給セズ

一 壯健ニシテ定休日ヲ除キ一ケ月五日以上休業シタルモノ

一 雇主事業失敗ノ爲メ廢業ノ己ムナキ場合

第四項 退職手当

一 病ノ爲メ退職スル場合ハ滿壹ケ年以上ノ勤務者ニ限り金參拾圓ヲ支給ス

一 繁忙期節ニ退職ヲ申出デタル場合ニ於テハ重ナル事由ヲ認メサル限りハ承諾セズ

第二條 扶助

第一項

職工業務ノ爲メ負傷ヲ爲シ職ニ耐ヘザルモノト認ムル時組合協定賃金壹人前分ヲ支給ス

尚ホ囑託醫ノ藥價ハ業主側ニ於テ負擔ス

但シ七日以上ニ亘ル時ハ七日ヲ以テ限度トス

第二項

私病ニ懼リ療養ヲ要スル場合ハ前項ノ半額ヲ支給ス(花柳病ハ此限りニ非ズ)

但シ二十一日ヲ以テ限度トス(藥價自辨)

第三項

前第二項ノ場合何レモ組合(雇主側)ニ於テ指定セル醫師ノ診斷書ヲ要ス

第三條 賞與

第一項 皆勤賞與

繁忙期(毎年三、八、九、十、十一、十二ノ六ケ月トス)ニ於テ一ケ月皆勤セル場合ハ一ケ月